



200万画素 双方向通話&サイレン 固定カメラ ユーザーマニュアル

ユーザーマニュアル

当社製品をご購入いただきありがとうございます。
ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店
までお問い合わせください。

本マニュアルは下記モデルに適用されます：

モデル
THC-B127-LTS
THC-B127-LPTS
THC-B227-LTS
THC-B327-LTS
THC-T227-LTS
THC-T127-PTLTS
THC-B327-LTS

本マニュアルには、いくつかの技術的な誤りや印刷上の誤りが含まれている可能性があります。内容は予告なく変更される場合があります。更新内容は、本マニュアルの新バージョンに追加されます。マニュアルに記載されている製品や手順は、随時改善または更新されます。

この文書について

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する指示が含まれています。以下に示す図、チャート、画像、その他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により予告なく変更される場合があります。最新版は Hikvision ウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別途合意がない限り、杭州海康威視デジタル技術有限公司およびその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず一切の保証を行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援のもとで、本ドキュメントをご利用ください。

本製品について

本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の認識

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、写真、グラフィックなど、その一部はすべて Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または変更することはできません。
- Hikvision およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな法域における Hikvision の所有物です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本ドキュメントおよび記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を行いません。本製品のご利用はお客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISION は、特別損害、結果的損害、付随的損害、間接損害（事業利益の損失、事業中断、データ損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任その他のいかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して生じた場合、たとえ HIKVISION がそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの本質に内在するセキュリティリスクを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- お客様は、適用される全ての法令を遵守して本製品を使用することに同意し、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確認する責任はお客様のみにあります。特に、あなたは、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用

する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動。

- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先する。

© 杭州海康威視デジタル技術有限公司。無断複写・転載を禁じます。

規制情報

EU 適合性宣言



本製品および付属品（該当する場合）は「CE」マークを取得しており、指令 2014/30/EU (EMCD) および指令 2011/65/EU (RoHS) に規定される調和

欧州規格に準拠しています。

注記：入力電圧が 50～1000 VAC または 75～1500 VDC の製品は指令 2014/35/EU (LVD) に、その他の製品は指令 2001/95/EC (GPSD) に準拠します。詳細は電源情報の記載をご確認ください。



指令 2012/19/EU (WEEE 指令)：本記号が付された製品は、欧州連合域内で一般廃棄物として廃棄できません。適切なリサイクルのため、同等の新品機器購入時に現地販売店へ返却するか、指定回収拠点で処分してください。詳細は

www.recyclethis.info を参照。



指令 2006/66/EC 及びその改正指令 2013/56/EU (電池指令)：本製品に含まれる電池は、欧州連合 (EU) 域内で一般廃棄物として廃棄できません。電池の詳細情報は製品文書をご参照ください。

電池にはこのマークが記載されており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字が含まれる場合があります。適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定回収拠点へ返却してください。詳細は以下を参照：www.recyclethis.info。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置はCAN ICES-3(A)/NMB-3(A)規格要件を満たしています。

KC

A 級機器：本機器は業務用 (A 級) 電磁波適合機器として、販売者または使用者はこの点にご注意ください。家庭以外の地域での使用を目的としています。

警告

本品はクラス A 製品です。家庭環境では電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な対策を取る必要がある場合があります。

安全上の注意

これらの指示は、危険や財産の損失を避けるために、ユーザーが製品を正しく使用できるようにすることを目的としています。

注意事項は「警告」と「注意」に分けられます。

警告：警告を無視した場合、重傷または死亡事故が発生する可能性があります。

注意：いずれかの注意を怠ると、負傷または機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告： 重傷または死亡事故を防ぐため、以下の安全対策に従ってください。	注意： 潜在的な負傷や物的損害を防ぐため、以下の注意事項を遵守してください。



警告

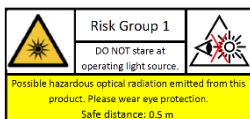
- 本製品の使用にあたっては、国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 および IEC62368-1 規格に基づく SELV（安全超低電圧）および 12 VDC の限定電源の両方に適合している必要があります。詳細については、技術仕様を参照してください。
- コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできる状態にしておくこと。
- 建物の電気設備には、全極主電源スイッチを組み込むこと。
- 過負荷による過熱や火災の危険を避けるため、複数の機器を1つの電源アダプターに接続しないでください。
- プラグが電源コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 本機から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからサービスセンターにご連絡ください。
- カメラを分解しようとししないでください。



注意事項

- 点灯したろうそくなどの裸火を機器の上に置かないでください。
- 本マニュアルの指示に従って機器を設置してください。
- 怪我を防ぐため、設置説明書に従って本機器を床/壁に確実に固定してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指で触れないでください。
- カメラを極端な高温・低温（動作温度は -40℃ から 60℃）、ほこりや湿気の多い場所に置いたり、強い電磁放射にさらしたりしないでください。
- 清掃が必要な場合は、少量のエタノールを含ませた清潔な布で優しく拭いてください。
- カメラを太陽や極端に明るい場所に向けてはいけません。
- レーザー光線によりセンサーが焼損する恐れがあります。レーザー機器を使用する際は、センサー表面がレーザー光線に晒されないようにしてください。
- 本装置を強い電磁波や極端な高温・低温、ほこりや湿気の多い環境にさらさないでください。
- 熱がこもらないように、動作環境は十分に換気してください。
- 非防水デバイスは使用中、液体に接触させないでください。
- 輸送中は、カメラを元の梱包材、または同等の材質の梱包材で梱包してください。

- 200 mm の距離における光線はリスクグループ 1 (RG1) に分類されます。本製品からは危険な光放射が放出される可能性があります。
- 作動中の光源を直視しないでください。目に有害な場合があります。
- 装置の設置または保守時には、適切な眼の保護具を着用するか、安全な距離 (0.5 m) または光が直接当たらない場所で補助照明を点灯してください。



1 ケーブル概要

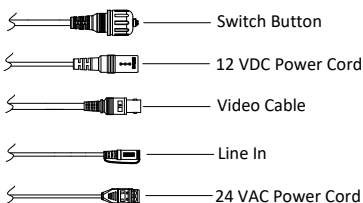


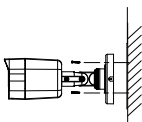
Figure 1-1 ケーブルの概要

注記:

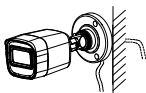
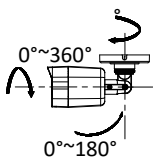
ケーブルはカメラモデルによって異なります。

2 インストール

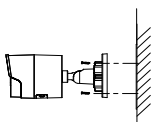
1



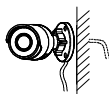
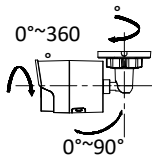
0°~360



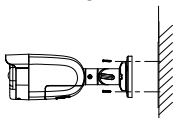
2



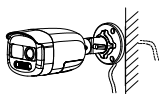
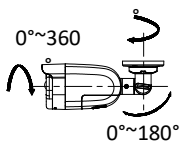
0°~360



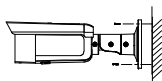
3



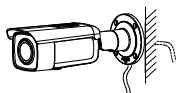
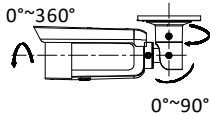
0°~360



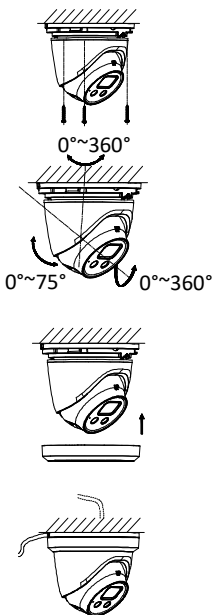
4



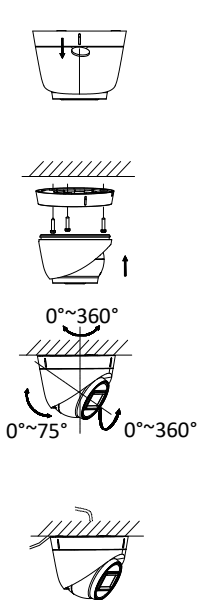
0°~360°



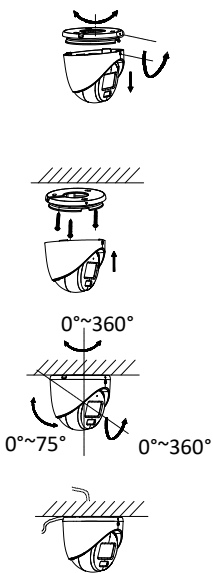
5



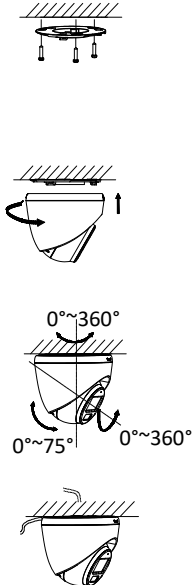
6



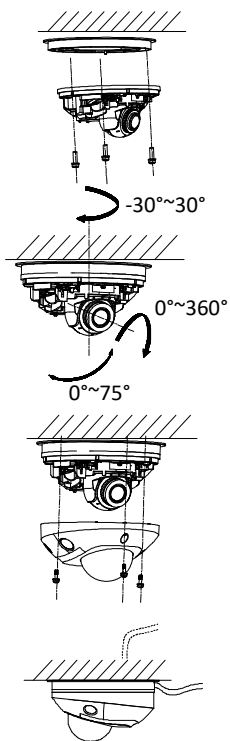
7



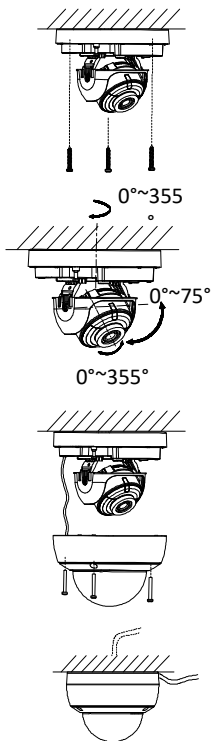
8



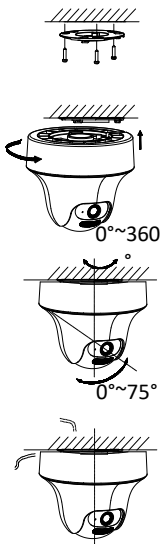
9



10



11



3 メニューの説明

メニューを呼び出すには、以下の手順に従ってください。

注:

実際の表示はカメラの機種によって異なる場合があります。

手順:

1. 図 3-1 に示すように、カメラを TVI DVR とモニターに接続してください。



Figure 3-1 接続

2. カメラ、TVI DVR、モニターの電源を入れ、モニターに映像を表示します。
3. PTZコントロールをクリックしてPTZコントロール画面に入ります。
4. ボタンをクリックするかプリセット番号 95 を呼び出してカメラメニューを表示します。

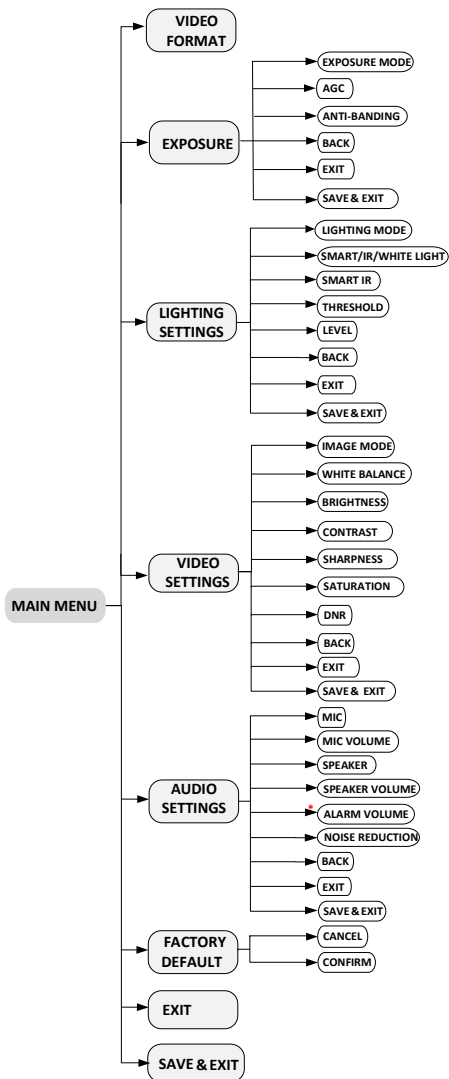


Figure 3-2 メインメニューの概要

5. 方向ボタンをクリックしてカメラを制御します。
 - 1). 上下方向ボタンをクリックしてメニューオプションを選択します。
 - 2). 選択を確定するには、アイリス+をクリックします。
 - 3). 左右方向ボタンをクリックして、選択したオプションの値を調整します。

3.1 ビデオフォーマット

ビデオフォーマットは以下の通りです。

電源	ビデオフォーマット
TVI	2 MP@25 fps 2 MP@30 fps

3.2 露出

露出モード

露出モードは、GLOBAL、BLC、HLC、DWDR、HLS に設定できます。

- GLOBAL

GLOBAL は、照明の分布、変動、および非標準的な処理を調整する通常の露出モードを指します。

- BLC（逆光補正）

BLC（逆光補正）は、前景の被写体を鮮明にするために光を補正しますが、これにより、光が強い背景が露出オーバーになる場合があります。

- HLC（ハイライト補正）

HLC はハイライト補正を意味します。カメラは強いスポット（画像の露出オーバー部分）を検出し、強いスポットの明るさを低減して画像全体を改善します。

- DWDR（デジタルワイドダイナミックレンジ）

デジタルワイドダイナミックレンジにより、カメラは画像内の暗い領域だけでなく、極端に明るい部分や高コントラスト領域も捉えることが可能となります。

- HLS（ハイライト抑制）

これは日食と同じ視覚効果です。画像内の部分の明るさが閾値を超えると、その部分は黒くなります。これにより画像全体が鮮明になります。

AGC（自動ゲイン制御）

暗い環境下での画像の鮮明度を最適化します。AGC レベルは **HIGH**（高）、**MEDIUM**（中）、**LOW**（低）に設定可能です。

注:

AGC レベルを設定するとノイズが増幅されます。

アンチバンディング

アンチバンディングは、低周波光や高輝度環境で画像を撮影する際に発生する水平線（バンディング）現象を防ぐ機能です。

3.3 照明設定

照明モード

スマート、IR、ホワイトライトが利用可能です。

➤ **スマート/IR**

- IR ライト

IR ライトは、状況に応じてオン/オフを切り替えることができます。

- スマート IR

スマート IR 機能は、光を最適な強度に合わせて調整し、画像の露出オーバーを防ぐために使用されます。

- D→N Threshold（昼夜切り替え閾値）

昼から夜のしきい値は、昼モードから夜モードへの切り替えの感度を制御するために使用されます。値は 1 から 9 まで設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

- N→D Threshold（夜から昼へのしきい値）

N to D Threshold（昼から夜へのしきい値）は、夜モードから昼モードへの切り替え感度を制御します。値は 1 から 9 まで設定可能です。値が大きいほどカメラの感度が高くなります。

➤ **WHITE LIGHT**

ホワイトライトサブメニューでは、モードを「OFF」または「AUTO」に設定できます。

- OFF

この機能を無効にするには、**OFF** に設定します。

- **AUTO**

このセクションでは、**閾値 (THRESHOLD)** と **レベル (LEVEL)** を設定できます。

閾値

しきい値が高いほど、デバイスは暗い環境に敏感になります。

LEVEL

補助光の最大輝度を調整できます。

3.4 ビデオ設定

カーソルを「**VIDEO SETTINGS**」に移動し、「Iris+」をクリックしてサブメニューに入ります。「**IMAGE MODE**」「**WHITE BALANCE**」「**BRIGHTNESS**」「**CONTRAST**」「**SHARPNESS**」「**SATURATION**」「**DNR**」が調整可能です。

VIDEO SETTINGS	
IMAGE MODE	◀ STD ▶
WHITE BALANCE	↵
BRIGHTNESS	◀ 5 ▶
CONTRAST	◀ 5 ▶
SHARPNESS	◀ 5 ▶
SATURATION	◀ 5 ▶
DNR	◀ 5 ▶
BACK	↵
EXIT	↵
SAVE & EXIT	↵

Figure 3-3 ビデオ設定

IMAGE MODE

IMAGE MODE は、画像の彩度を調整するために使用され、**STD** (標準)、**HIGH-SAT** (高彩度)、**HIGHLIGHT** (屋内での顔のディテールをより鮮明に) に設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、カメラの白色再現機能であり、環境に応じて色温度を調整します。これにより、画像内の不自然な色かぶりを取り除くことができます。**ホワイトバランスモード**は、**AUTO** (自動) または **MANUAL** (手動) に設定できます。

- **AUTO**

AUTO モードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

- **手動**

R-GAIN/B-GAIN 値を設定することで、画像の赤/青の色調を調整できます。

WHITE BALANCE	
MODE	◀ MANUAL ▶
R-GAIN	◀ 5 ▶
B-GAIN	◀ 5 ▶
BACK	↵
EXIT	↵
SAVE&EXIT	↵

Figure 3-4 ホワイトバランス

明るさ

輝度とは、画像の明るさを指します。輝度値を 1 から 9 まで設定して、画像を暗くしたり明るくしたりできます。値が大きいほど、画像は明るくなります。

コントラスト

この機能は、画像の各部分間の色と光の差を強調します。

シャープネス

シャープネスは、画像システムが再現できる細部の量を決定します。

彩度

彩度は、総体的な色彩感覚における純粋な色相の割合です。この機能を調整して色の彩度を変更します。

DNR

DNR はデジタルノイズリダクションを指します。この機能は動画ストリーム内のノイズを低減します。

3.5 オーディオ設定

マイク

このサブメニューでは、マイクの音声拾い込み機能をオンまたはオフにすることができます。

マイク音量

このサブメニューでは、マイクの音量レベルを調整できます。

スピーカー

このサブメニューでは、スピーカー機能をオンまたはオフにすることができます。

スピーカー音量

このサブメニューでは、スピーカーの音量レベルを調整できます。

アラーム音量

このサブメニューでアラームの音量レベルを設定できます。アラーム音量は「大」「中」「小」に設定可能です。

注:

本機能は一部のモデルのみ対応しています。

ノイズリダクション

ノイズリダクションをオンにすると、音声のノイズを低減できます。

3.6 工場出荷時設定

すべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

3.7 EXIT

カーソルを「終了」に移動し、Iris+ をクリックしてメニューを終了します。

3.8 SAVE & EXIT

カーソルを[SAVE & EXIT] に移動し、Iris+ をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。

UD37820B-A